

07款 商工費		01項 商工費		02目 商工振興費		
事業名		商工業振興対策費				単位：円
事業内容	<p>商工業振興対策として、関係団体等に助成を行い、商工業振興計画または活性化対策等を行い市内の商工業の振興を図る。</p> <p>1 産業まつり実行員会負担金 2 岩手県中小企業団体中央会負担金 3 商工業振興事業費補助</p>			計 画 値	<p>遠野商工会講習会 集団指導 200人 個別指導 100件 確定申告指導 400件</p> <p>産業まつり来場者数 14,000人</p>	
	成果	<p>遠野商工会においては、経営改善普及事業を通じて中小企業への支援を行った。また、創業や起業の促進支援を行うとともに、新分野進出等経営改革を図る会員との連携強化などに努めた。</p> <p>産業まつりにおいては、中心市街地活性化を図るため蔵の道ひろばを中心会場とし、中心市街地活性化センターとぴあイベント、商店街イベント、遠野テレビフェスタ、JAふれあいまつり、森林のくに遠野まつり、技能まつりを合同開催した。前年より来場者が1,000人程増加し、売上も前年を上回った。</p>			実 績 値	<p>遠野商工会講習会 集団指導 135人 個別指導 312件 確定申告指導 396件</p> <p>産業まつり開催 平成26年10月11日・12日 来場者 14,500人</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
12,085,000	11,704,000	0	0	0	11,704,000	

07款 商工費		01項 商工費		02目 商工振興費		
事業名		物産振興費				単位：円
事業内容	<p>市内の物産開発及び販路拡大を図るため、各種物産展への参加、各関係団体に対する助成を行うほか、市内物産開発の現状を把握し広く周知を図る。</p>			計 画 値	<p>物産フェア等参加 10回</p>	
	成果	<p>各種物産フェアへの参加及びイベント開催により、県内外への特産品販売やPRを行った。また、前年に引き続き友好都市と連携し、震災復興イベントでの物産販売も行うことができた。</p> <p>【参加した物産フェア等】 ハイウェイフェスタ東北、東京競馬場遠野物産展、遠野郷人会、遠高同窓生の集い、むさしの青空市、中野ブロードウェイ、銀河プラザ物産展、イオン南「結いの市」、アンテナショップ「麦わら帽子」</p>			実 績 値	<p>物産フェア等参加 9回</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,647,000	4,201,510	766,308	0	0	3,435,202	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費		
事業名		金融対策費				単位：円	
事業内容	市内中小企業及び商工業者に対し、融資のあっせん及び利子補給を行い、商工業の振興を図る。			計 画 値	取扱金融機関	5行	
	1	遠野市中小企業振興資金利子補給率	2.5%		利子補給新規件数	150件	
	2	小規模小口資金（岩手県制度融資）利子補給率	1.7%				
3	商工観光振興資金（岩手県制度融資）利子補給率	1.6%					
成果	運転資金、設備資金、開業資金及び経営安定資金の融資及び利子補給を行ったことにより、経営の安定と拡充に寄与した。			実 績 値	取扱金融機関	5行	
	1	中小企業振興資金 新規貸付 113件、貸付金額 595,740,000円、償還金額 617,098,055円			利子補給新規件数	125件	
	2	小規模小口資金 新規取扱 3件、対象金額 10,400,000円、償還金額 47,651,200円					
3	商工観光振興資金 新規取扱 9件、対象金額 262,200,000円、償還金額 86,712,400円						
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
253,800,000	253,589,675	0	0	200,000,000	53,589,675		

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費		
事業名		中心市街地活性化センター管理運営事業費				単位：円	
事業内容	中心市街地活性化センター（とぴあ）を指定管理者により管理運営し、中心市街地の核となる施設として、市民の交流と憩いの場を提供するとともに、中心市街地の活性化を図る。 計画的な施設改修を行い、集客施設として適切な施設管理を図る。			計 画 値	1 指定管理者による施設管理	売上額	1,831百万円
					来客数	1,218千人	
	【中心市街地活性化センター】	施設の延床面積	17,407㎡		2 施設改修工事の実施	駐車場舗装防水工事	対象面積
		（うち店舗部分	9,055㎡）		3 施設内修繕工事の実施		
		指定管理者	協同組合遠野商業開発				
成果	1 指定管理者により適切に管理運営し、中心市街地の核となる施設として地域の活性化に貢献した。（指定管理料 60,928千円）			実 績 値	1 指定管理者による施設管理	売上額	1,596百万円
	2	屋上駐車場舗装防水工事の実施			来客数	1,046千人	
	3	施設改修工事の実施 手摺設置工事、自動ドア修繕			2 屋上駐車場舗装防水工事	実施面積	1,022㎡
					3 施設改修工事の実施	手摺設置工事、自動ドア修繕	2件
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
78,618,000	78,483,088	0	0	7,683,000	70,800,088		

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費
事業名 企業誘致対策費					単位：円
事業内容	<p>地域経済の活性化推進のため、商工業振興対策審議会の開催、企業信用調査、企業懇談会の開催などにより企業誘致を促進する。</p> <p>奨励措置：事業所立地奨励金交付など</p>			計 画 値	<p>企業誘致件数 1件 平成26年度までに14件（累計）の企業立地協定や工場増設を目指す。</p> <p>審議会開催回数 3回</p> <p>新規奨励措置適用事業社数 1社</p>
	成果	<p>1 首都圏の企業を中心に企業情勢や取引先の情報把握に努め、当市に進出する意向のある企業との折衝を継続した。</p> <p>2 遠野市事業所設置奨励条例に基づき、事業所設置奨励金の交付1社、固定資産税の減免6社、民間施設無償貸与1社に対する奨励措置を講じた。</p> <p>3 旧遠野まちなかギャラリー1階の内装・照明工事や間仕切り・配線工事等の小額工事を行い、事務室スペースを確保し、誘致企業の規模拡充を受け入れる環境を整えた。</p>			実績 値
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
59,321,000	58,695,076	0	0	0	58,695,076

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費
事業名					単位：円
ふるさとの街賑わい創出事業費					
事業内容	<p>中心市街地の活性化を目的として、次の事業を実施する。</p> <p>1 中心市街地活性化補助金 遠野商工会が実施する中心市街地活性化を目的とした事業に対して補助金を交付する。</p> <p>2 中心市街地活性化協議会 中心市街地の賑わい創出事業の推進とワーキンググループによる情報交換を行い今後のまちづくりの方向性を検討する。</p>			<p>町家のひなまつり展示 68カ所</p> <p>中心市街地の空き店舗数 9店</p>	
	<p>商工会を通じて商店街等の支援を行うことにより、市民協働のまちづくりの促進を図り、中心市街地の賑わい創出を実施した。</p> <p>1 中心市街地活性化補助金 (1) 意欲ある町衆育成事業 町家のひなまつり講習会(3回)、みずきびな作成講習会(3回) 販売促進セミナー(1回)、語り部認定スクリーニング(1回) (2) 遠野賑わいプロジェクト事業 メールマガジン(毎月1回)、通行量調査(市内5地点) (3) 遠野町家のひなまつり開催事業(来場27,274人) (4) 商店街等活動助成事業(6団体7事業) (5) 街角ギャラリー推進事業(8回) (6) 空き店舗家賃助成事業(3件) (7) ファサード改修費助成事業(1件)</p> <p>2 中心市街地活性化推進協議会 (1) 遠野市中心市街地活性化協議会開催(1回) (2) 中心市街地活性化協議会総会(新潟県高岡市) (3) 中心市街地まちづくり研究会参加(福岡県北九州市)</p>			<p>町家のひなまつり展示 66カ所</p> <p>中心市街地の空き店舗数 8店</p>	
成果				計画値	
				実績値	
予算額	決算額	財源		訳	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,301,000	5,251,793	0	0	4,000,000	1,251,793

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費
事業名		商工業チャレンジ応援事業費			単位：円
事業内容	<p>市内の中小企業や団体において、新商品の開発、既存商品の改良（パッケージの変更）、大学等との連携による共同研究、新たな起業に要する経費に対し事業費の交付を行う。</p> <p>1 新商品開発事業 … 新商品又は新技術の開発（原材料費、委託費、市場調査費等）</p> <p>2 既存商品改良事業 … 既存商品のデザイン、性能及び食味等の改良（原材料費、委託費、市場調査費等）</p> <p>3 起業応援事業 … 新規起業に伴う法人設立及び販路開拓（定款認証費、商業登記費、委託料、広告宣伝費）</p> <p>4 産学連携共同研究事業 … 大学等と共同で行う商品開発、技術研究（原材料費、委託料、施設等使用料）</p>			計画値	<p>新商品開発事業 1件</p> <p>既存商品改良事業 1件</p> <p>起業応援事業 1件</p> <p>産学連携共同研究事業 1件</p>
	成果	<p>1 新商品開発事業 どぶろくりキュール3種類、団体連携による商品開発</p> <p>2 既存商品改良事業 既存商品ラベル変更、既存商品小型化、新規市場調査事業</p> <p>なお、起業応援及び産学連携共同研究事業については、相談案件はあったものの申請には至らなかった。</p>			実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,200,000	12,066,000	0	0	10,000,000	2,066,000

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費
事業名		遠野まちなか再生事業費			単位：円
事業内容	<p>遠野まちなか再生地区第2期都市再生整備計画（平成26年度～平成30年度）と併せ、観光・商業振興及びまちなか居住による中心市街地の賑わい創出を推進するために、中心市街地の空き家の利活用検討及び第3の教育の場として旧三田屋を活用し「遠野オフキャンパス」を実施する。</p>			計画値	<p>遠野オフキャンパス 3回</p> <p>市民周知用広報誌作成 5,000部</p>
	成果	<p>中心市街地の賑わい創出を推進するために、中心市街地の空き家の利活用検討及び第3の教育の場として旧三田屋を活用して「遠野オフキャンパス」を実施した。</p> <p>3回実施した「遠野オフキャンパス」には多くの高校生等が参加し、遠野のまちづくりについて考える機会となるとともに、まちづくり市民周知用広報紙「Heiipress（へいいプレス）」を発行し、これらの取り組み等を市民に周知した。</p> <p>また、中心市街地活性化に係る映像を制作した。</p>			実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,000,000	9,247,320	0	0	9,000,000	247,320

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					宮守まちなか再生事業費	単位：円
事業内容	宮守町の中心市街地の活性化を図るため、当地域随一の観光スポットである「めがね橋」のたもとに隣接する「ふれあい情報プラザ(道の駅みやもり)及びmm1」を地域の活性化に欠かせない重要な観光・交流施設及び地域住民の生活利便施設として、リニューアルに向けた展示実施設計及び改修実施設計業務を進める。 併せて、宮守まちなか再生地区都市再生整備計画(平成27～31年度)の認定申請を行う。			計画値	ふれあい情報プラザ等展示実施設計業務	
					ふれあい情報プラザ等改修実施設計業務 宮守まちなか再生地区都市再生整備計画の申請	
成果	ふれあい情報プラザ(道の駅みやもり)とmm1が入居する施設全体の機能の充実を図るための一体的なリニューアルに係る展示実施設計業務に着手することができた。 なお、設計内容について、関係機関と引き続き協議を重ねる必要があるため、改修実施設計及び展示実施設計(一部)を平成27年度に繰り越して実施する。 宮守まちなか再生地区都市再生整備計画(平成27～31年度)については、平成27年3月に国土交通省の認定を受けた。			実績値	ふれあい情報プラザ等展示実施設計業務 宮守まちなか再生地区都市再生整備計画の認定	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,158,000	2,200,000	0	0	0	2,200,000	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					遠野東工業団地等整備事業費	単位：円
事業内容	当市の主要工業団地である遠野東工業団地の売却に向けて、長年にわたり企業と折衝を続けてきていたが今年度話がまとまり、平成26年10月8日に覚書を交わし、平成27年3月13日には同団地での工場増設に関する基本協定を締結した。 平成28年中の売却に向け、基金財産から買い替えし、測量調査や造成工事基本設計及び実施設計を進め、開発行為許可申請手続き、樹木伐採を経て、造成工事に着手する。 また、新工業団地整備に向けた各種事前調査を実施する。 造成面積：99,155㎡			計画値	造成基本及び実施設計等業務委託 8.9ha 測量業務委託 98m 調査業務委託 32ha 伐採業務委託 390㎡ 基金財産買換え 88,842㎡	
成果	1 遠野東工業団地の造成工事に向け、基本設計・実施設計、測量業務、開発行為許可申請に取り組んだ。なお、開発行為許可申請手続きに時間を要したことから、造成工事や配水管給水管布設工事などは平成27年度に繰り越して実施する。 2 団地内にあるアカマツを伐採除去した。 3 基金財産としていた同団地を、造成工事をするため買い換えた。 4 新工業団地整備に向け、候補地調査を実施した。			実績値	造成基本及び実施設計業務委託 8.9ha 測量業務委託(現況測量) 98m 調査業務委託(公図集成図、権利調査) 32ha 伐採業務委託 390㎡ 基金財産買換え 88,842㎡ 105,230,449円	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
433,702,000	123,989,968	0	0	0	123,989,968	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					地域の元気創造拠点検討事業費	単位：円
事業内容	<p>活力ある地域を形成するため、交流人口の拡大も視野に、様々な仕事につながる産業振興を推進するとともに、遠野ならではのポテンシャルを最大限活かした地域の元気創造拠点の構築に向けて、道路ネットワークの環境変化を念頭に検討を行う。</p>			計画値	<p>有識者会議の開催 1回</p> <p>風の丘あり方検討会の開催 1回</p>	
	成果	<p>東北横断自動車道地釜石秋田線の全線開通を視野に、国道107号、283号、340号、396号を含めたゲートウェイとして、道の駅「遠野風の丘」の機能強化について、風の丘関係者を中心に設置されたあり方検討会において検討を行った。</p> <p>一方、国の動向に関する情報収集に重点を置いたため、有識者会議の設置は見送った。</p> <p>なお、本事業での検討結果を踏まえ、平成27年4月にハブ遠野整備推進室を設置し、本格的な事業検討に着手した。</p>			実績値	風の丘あり方検討会の開催 5回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
570,000	499,386	0	0	0	499,386	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					企業誘致対策費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>企業立地補助金の交付などの奨励措置を講じ、雇用の場の確保に努める。</p> <p>なお、奨励措置適用基準の雇用人数条件を満たすのに時間を要したため、平成26年度に繰り越した。</p> <p>奨励措置：企業立地補助金交付</p>			計画値	新規奨励措置適用事業所数 1社	
	成果	<p>遠野市企業立地補助金交付要綱に基づき、工場を増設した市内企業に対し企業立地補助金を交付し、雇用の場の確保に努めた。</p> <p>奨励措置：企業立地補助金交付 1社</p>			実績値	新規奨励措置適用事業所数 1社
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
65,800,000	65,800,000	32,900,000	0	0	32,900,000	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					まつり振興事業費	単位：円
事業内容	各種まつりを開催し、観光客の増加を目指すとともに、郷土芸能伝承や、市街地の活性化を図る。			計 画 値	入込数	
	1 遠野さくらまつり				さくらまつり	10,000人
2 馬力大会馬の里遠野大会			馬力大会	6,500人		
3 遠野納涼花火まつり			花火まつり	30,000人		
4 遠野まつり			遠野まつり	35,000人		
5 遠野ふゆ物語			遠野ふゆ物語	28,600人		
6 柏木平リバーサイドまつり			リバーサイド	6,000人		
7 躍進みやもり祭			みやもり祭	2,000人		
成果	各種まつりは観る側、演じる側双方が気持ち良く観覧できる環境づくりを意識しながら開催した。 観光客に訪れていただき、地域活力の向上や活性化につながり、活気あるまちづくりに資する一助となり、官民一体となって各種まつりをつくり上げることができた。 特に遠野まつりは、平成20年度以来6年振りに遠野郷八幡宮と合同開催となり、市民協働のシンボルイベントとして開催され、後世に伝えるべき歴史や伝統郷土芸能継承活動の一翼を担った。			実績 値	入込数	
					さくらまつり	10,000人
			馬力大会	6,700人		
			花火まつり	15,000人		
			遠野まつり	32,000人		
			遠野ふゆ物語	27,000人		
			リバーサイド	6,000人		
			みやもり祭	2,000人		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
19,700,000	19,700,000	0	0	18,200,000	1,500,000	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					観光・交流施設整備保全事業費	単位：円
事業内容	遠野市観光・交流施設整備方針を定め、観光客等のニーズに対応した環境整備を行いながら、老朽化等により景観を阻害したり、観光客や利用者等に不便をきたしている施設等の改修を行い、利用者が安全、快適に利用できるように整備する。			計 画 値	遠野物語原風景ゾーン改修工事	13件
					柏木平レイクリゾート施設改修工事	1件
				自然の風体感ゾーン改修工事	9件	
成果	遠野市観光・交流施設整備保全方針に基づき計画的に改修工事を実施し、観光客等の利便性向上と施設の長寿命化を図った。 また、平成28年度以降の改修方針策定のため事前調査を業務委託した。 【主な改修工事】 ・たかむろ水光園ソーラーシステム熱交換器改修 ・コテージランドかしわぎデッキ改修 ・遠野インター付近観光案内標識設置 ・石上山登山道鎖梯子改修			実績 値	遠野物語原風景ゾーン改修工事	5件
					柏木平レイクリゾート施設改修	1件
				自然の風体感ゾーン改修	8件	
				次期方針策定事前調査業務委託	2件	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
28,377,000	27,471,192	0	23,400,000	1,047,600	3,023,592	

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費	
事業名 伝統かやぶき屋根再生事業費					単位：円
事業内容	遠野市の貴重な地域資源である茅葺き家屋を良好な状態に保つため、定期的な葺き替えや差し茅工事を行うことにより、茅葺き家屋の保全と文化を継承し、観光地としてのイメージアップを図る。			計 画 値	遠野ふるさと村内施設葺替工事 1件
					伝統かやぶき屋根再生事業進捗率 57% (計画箇所数 28件 内実施箇所数 16件)
成果	遠野ふるさと村内にある川前別家、大野どん箱棟、長野バス停大屋根の改修工事に取り組んだ。 茅葺き施工に携わる地域団体にも改修作業への参加を促し、茅葺き職人の養成と技術継承を図るとともに、施工中は「みせる観光」として現場を公開し、観光を通じて茅の葺き替え文化継承を心がけた。			実 績 値	遠野ふるさと村 川前別家屋根改修 1件 大野どん箱棟等改修 1件
					長野バス停屋根改修 1件 伝統かやぶき屋根再生事業進捗率 64% (計画箇所数 28件 内実施箇所数 18件)
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
40,159,000	40,158,396	0	36,900,000	0	3,258,396

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費	
事業名 めがね橋周辺賑わい創出事業費					単位：円
事業内容	遠野市の西の玄関口宮守町を代表する観光の名勝「めがね橋」周辺の施設を活用し、賑わいを創出（集客）することにより遠野市のPRと地域の活性化を図る。			計 画 値	観光客入込数 369,280人
成果	「めがね橋」周辺の施設を活用したイベントを開催したことにより、観光客等の集客や地域住民の交流、活性化が図られた。			実 績 値	観光客入込数 321,440人
	イベント開催回数 4回 1 めがね橋「SL銀河おもてなし作戦」(4/7~5/3、1,098人) 2 めがね橋夜まつり(8/13、300人) 3 銀河のまつりin「あらまち演芸会」(9/27、300人) 4 三陸コンサートIVinみやもりホール(2/8、200人)				
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
562,000	562,000	0	0	400,000	162,000

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費		
事業名 SL停車場プロジェクト推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>遠野市SL停車場プロジェクト推進委員会を設置し、JR東日本が行う釜石線SL運行に併せ、SLを核とした遠野市の魅力を全国的にPRして誘客を図るとともに、観光客の受入体制の充実と、釜石線沿線自治体と積極的に連携し、交流人口の拡大を図る。 また、銀河鉄道のイメージを象徴するめがね橋周辺施設の整備を図る。</p> <p>【SL効果（試算）】 運行4本/月×定員180人×遠野駅乗降率0.6×10カ月＝4,320人</p>			計画値	観光客入込数	650,000人
	宿泊客数	74,800人				
成果	<p>平成26年4月12日から「SL銀河」が運転を開始し、11月30日まで延べ78回運行された。運転初日には市民へ歓迎旗を配布し、市民総出でお出迎えに取り組んでいただいた。 SLを核とした観光客の誘客を図るため下記事業を実施した。 なお、SL乗降客の大部分がSL乗車が目的であり観光施設への回遊には繋がらなかった。 宿泊客数については、震災復興に伴う業者が宿泊していることから計画値を上回った。</p> <p>1 首都圏等におけるPR（5回） 2 停車駅でのおもてなし及び乗降客への観光PR（78回） 3 SL銀河フォトコンテスト（応募185点） 4 SL運行情報看板設置（4カ所） 5 遠野探訪・ロケ地ガイドマップ等パンフレットの作成 6 遠野市新二次交通対策実証事業「遠野くるりん号」試験運行（実施回数15回、乗車客数64人） 7 菓子めぐりスタンプラリー「菓子ポート」（購入実績100冊）</p> <p>【SL効果】 運行78本×定員176人×乗車率0.9×遠野駅乗降率0.6＝7,413人</p>			実績値	観光客入込数	522,655人
	宿泊客数	85,960人				
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,037,000	13,029,400	0	0	0	13,029,400	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費
事業名		SL 停車場プロジェクト推進事業費（繰越明許費）			単位：円
事業内容	<p>SL 運行にあたり宮守町の活性化を図るため、観光スポットである「めがね橋」（宮守川橋梁）のたもとに隣接する「ふれあい情報プラザ（道の駅みやもり）及びmm1」を重要な観光・交流施設及び住民の生活利便施設としてのリニューアルに向けた基本設計業務を行う。 設計内容を十分検討する必要があることから、平成26年度に繰り越した。</p>			計画値	ふれあい情報プラザ等展示基本設計業務 1件
					ふれあい情報プラザ等改修基本設計業務 1件
成果	<p>「ふれあい情報プラザ（道の駅みやもり）」とmm1が入居する施設全体の機能を充実するための一体的なリニューアルの展示及び改修基本設計業務を平成26年8月29日に完了することができた。</p>			実績値	ふれあい情報プラザ等展示基本設計業務 1件
					ふれあい情報プラザ等改修基本設計業務 1件
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,317,000	6,104,960	0	0	0	6,104,960

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費
事業名 連携交流推進事業費					単位：円
事業内容	<p>1 交流人口拡大推進事業 遠野みらい創りカレッジを拠点とした企業研修の受け入れを行う。</p> <p>2 地域間交流推進事業 首都圏等に向けた交流事業として、友好都市である武蔵野市、大府市と都市と農村の交流として市民ツアーの受け入れ、まつりへの出店を行う。 市民交流事業として、友好都市である菊池市、西米良村との住民相互交流を行う。</p> <p>3 平成・南部藩事業 南部ゆかりの歴史と関わりがある構成市町村と交流事業を行う。</p> <p>4 遠野郷人会事業 遠野郷人会を中心とした首都圏のネットワーク作りを行う。</p>			計画値	交流事業参加者人数 1,200人
	<p>1 交流人口拡大推進事業 遠野みらい創りカレッジと連携し、企業や大学の研修の受け入れを行うことにより交流人口の拡大につながった。</p> <p>2 地域間交流事業 平成26年8月、新たに兵庫県福崎町との友好都市を締結し、友好都市数は6市町村となった。 大府市民ツアーの受け入れや菊池市・西米良村との住民相互交流を行い友好都市との交流を深めた。 また、武蔵野市・大府市・福崎町のイベントに出店を行い、遠野市の特産品を販売しPRすると共に住民との交流を行った。</p> <p>3 平成・南部藩交流事業 地域づくり成果報告会などの実施により、構成市町との交流と相互理解を深めることができた。</p> <p>4 遠野郷人会事業 主に首都圏在住の遠野出身者が会員となっている遠野郷人会総会に遠野市の関係者も参加し、ネットワークを活かしふるさと遠野をPRした。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,623,000	2,531,844	0	0	248,436	2,283,408

07款 商工費		01項 商工費		04目 交流推進費		
事業名 で・くらす遠野定住促進事業費					単位：円	
事業内容	1 で・くらす遠野サポート市民会議との協働による移住・定住の促進 2 で・くらす遠野市民制度の運営と広報誌「で・くらす遠野」を年4回発行する。			計 画 値	定住者世帯数 (H18～累計) 45世帯 で・くらす遠野市民人口 (累計) 1,600人	
	成果	1 常に移住希望者のワンストップ窓口を心掛け、農地、新規就農、就労などの相談に関係機関と情報共有しながら対応した。平成26年度は8世帯16人が移住した。 2 遠野市空き家リフォーム事業助成金を交付し、移住の受け皿となる住居の充実を図ることができ、物件確保に努めた。(交付件数 1件) 3 移住者交流会を開催したほか、移住した方へは電話で聞き取り、または個別訪問しフォローアップに努めた。 4 広報誌「で・くらす遠野」を年4回発行し、全国ので・くらす遠野市民に遠野の情報を発信した。また、5月に開催された「遠野郷人会」総会において、会場内に相談窓口を設置しPR活動を行った。			実 績 値	定住者世帯数 (H18～累計) 61世帯 (H26定住者世帯数 8世帯) で・くらす遠野市民人口 (H18～累計) 2,136人 (H26で・くらす遠野市民人口 308人)
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,896,000	2,682,980	0	0	2,400,000	282,980	

07款 商工費		01項 商工費		04目 交流推進費		
事業名 遠野ツーリズム交流推進事業費					単位：円	
事業内容	遠野の地域資源や特性を活かした遠野ツーリズムの推進と、遠野早池峰ふるさと学校を利用した交流拠点事業について、関係団体や地域住民と連携して行う。			計 画 値	農家民泊戸数 120軒 遠野早池峰ふるさと学校利活用者数 1,000人	
	成果	教育旅行や企業研修などの滞在型ツーリズムが増加し、民泊受入農家も6軒増加した。 遠野早池峰ふるさと学校を一度訪れた方が、雰囲気の魅力、学校を気に入り、何度も学校を訪れるリピーターが増加している。 また、首都圏在住の熱心なファンの方が当学校で結婚披露宴を行ったことにより交流人口の拡大につながった。			実 績 値	農家民泊戸数 141軒 遠野早池峰ふるさと学校利活用者数 4,071人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,200,000	3,724,764	0	0	3,600,000	124,764	